

水レター「びわ湖・よど川」

2011. 8 【vol.16】
独立行政法人 水資源機構 関西支社 発行

水レター「びわ湖・よど川」は、水資源機構全体の取り組みや関西支社管内における水資源機構に関する情報、琵琶湖・淀川水系の水源地域情報を関西管内の関係者（利水者、関係府県、関係市町村及びその他の関係機関）の皆様にご直接配信させていただきます。

今回の水レターでは、水資源機構関西支社の中津川管理室が管理を開始してから15,000日を迎えたことや大門ダム（奈良県）および畑川ダム（京都府）に勤務する職員からの近況報告を掲載させていただきました。どうかご一読ください。

目 次

1. 7月の気象状況	1 p
2. 管理開始から15,000日目を迎えました	3 p
3. 【近況報告】	
畑川ダム施工監理業務について	7 p
大門ダムに勤務して	8 p
4. 【報告】関西管内の週間行事について	
・ 青山夏祭り開催	9 p
・ 布目ダムわくわく探検を開催	9 p
・ 奈良県桜井浄水場と合同で「あつまれ！水・水探検隊3」を開催	11 p
5. 機構と国の給与の比較(ラスパイレス指数)について	12 p
6. どぼくカフェ開催ー土木学会関西支部関連イベント参加ー	13 p
7. イベント情報および編集後記	14 p

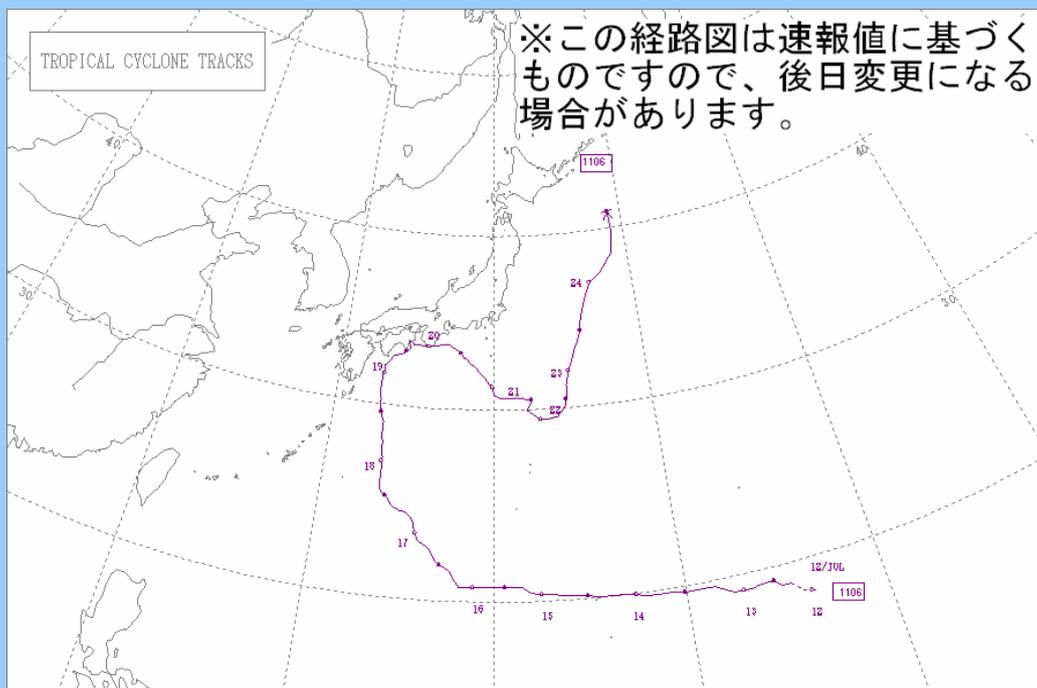
7月 の気象状況



近畿地方では、7月8日に例年より13日早く梅雨明けしたと見られ、梅雨明け後はしばらく晴天に恵まれました。7月20日には台風6号が紀伊半島に接近したため、各地でまとまった降雨がありました。大型で強い勢力の台風6号は、関東地方から日本海側に張りだした高気圧の影響で、速度が遅く、広い範囲で長い時間の降雨をもたらしました。特に三重県南部～奈良県南部にかけてまとまった降雨があり、比奈知ダム流域では降水量が300mmを超えるなど、近畿地方の広い範囲において降雨がありました。この降雨により、日吉ダムにおいて洪水調節を行い、琵琶湖においては琵琶湖水位が、BSL-0.23mからBSL+0.04mまで上昇しました。

7月の主な雨量は、青蓮寺ダム282mm、比奈知ダム353mmとなり、7月雨量の平年値と比べ、青蓮寺ダム144%、比奈知ダム189%と平年比を上回りましたが、一庫ダムで93%、日吉ダムで78%と平年値以下でした。

8月の近畿地方の1ヶ月予報では、平年と同様に晴れの日が多いとの予報です。引き続き、万全な管理を行ってまいります。



気象庁台風経路図より

7月の雨量、7月までの累計雨量と平年値

(単位：mm)

	琵琶湖開発			高山ダム			青蓮寺ダム			室生ダム		
	平年値	H23年 観測値	平年比	平年値	H23年 観測値	平年比	平年値	H23年 観測値	平年比	平年値	H23年 観測値	平年比
7月の雨量	205.0	233.9	114%	194.0	224	115%	196.0	282	144%	191.0	255	134%
7月までの累計雨量	1018.9	1182.2	116%	872.0	1042.0	119%	835.0	970.0	116%	863.0	996.0	115%

	布目ダム			比奈知ダム			一庫ダム			日吉ダム		
	平年値	H23年 観測値	平年比	平年値	H23年 観測値	平年比	平年値	H23年 観測値	平年比	平年値	H23年 観測値	平年比
7月の雨量	181.0	279	154%	187.0	353	189%	174.0	161	93%	153.0	119	78%
7月までの累計雨量	862.0	1010	117%	787.0	1028	131%	829.0	800	97%	745.0	751	101%



- ※1 平年値とは、各施設（ダムおよび琵琶湖開発）の管理開始から平成22年度までの各月の累計雨量を相加平均した数値
- ※2 琵琶湖は流域平均雨量、各ダムはダム地点雨量
- ※3 本観測値は、速報値であり、今後の調査により数値等が変わることがあります。

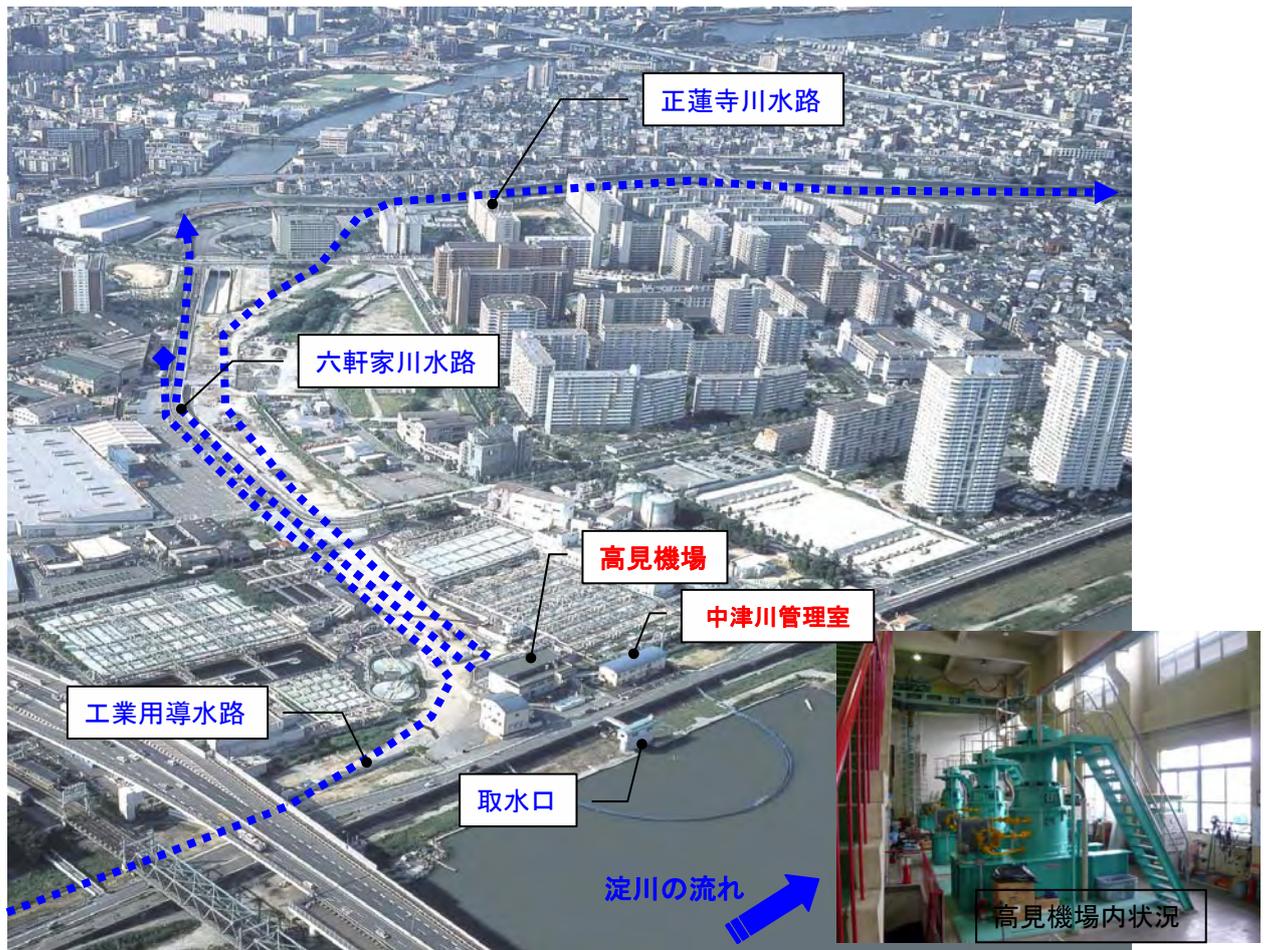
関西支社 施設管理課

—管理開始から15,000日目 を迎えました(お礼)—

1. 正蓮寺川利水事業の管理

正蓮寺川利水事業の管理は、昭和45年7月1日から開始し、平成23年7月25日に、「15,000日目」を迎えました。

また、この7月1日には、管理開始以来、「満41歳」を迎えました。



空撮〔「正蓮寺川利水事業」パンフレット表紙〕

2. 中津川管理室の名称等

淀川はかつて大川、中津川、神崎川の3川に分かれていましたが、明治29年に着手された淀川改良工事による新淀川の開削によって中津川は消滅し、開削工事の土砂運搬と舟運の確保のため、新淀川の左岸に沿い運河が設置されました。この運河が正蓮寺川上流部にあたりますが、中津運河(長柄運河)あるいは、中津川と呼ばれるようになりました。

『正蓮寺川利水事業』は、この正蓮寺川上流部を埋立て、その河川維持用水を新規利水に転用する事業ですが、当時読みが同じとなる青蓮寺ダム建設事業が行われていたこともあり、事業所名は「中津川建設所」と命名されることとなったようです。

その後「中津川管理所」となり、平成16年4月から関西支社に統合され、「中津川管理室」に改名し、今日に至っています。

3. 正蓮寺川利水事業

正蓮寺川利水事業は、正蓮寺川及び六軒家川の流水の正常な機能を維持するための流量を転用し、阪神地区の都市用水 $8.5 \text{ m}^3/\text{s}$ （大阪広域水道企業団、大阪市、枚方市、守口市、阪神水道企業団、神戸市、尼崎市、西宮市、伊丹市）を確保するため、

①正蓮寺川下流部及び六軒家川の従前の機能を維持するための代替施設として淀川本川から最大 $22 \text{ m}^3/\text{s}$ の分水を行う高見機場を設置

②正蓮寺川の上流部（中津川、約 5.8 キロメートル）を埋め立てるとともに正蓮寺川から取水していた既存の工業用水を供給する工業用水導水路を建設したものです。

また、これらの事業と関連する

③大阪府の高潮対策事業

④大阪市都市計画街路淀川南岸線建設事業

⑤大阪市の下水道事業

との合併施行を行うものとされ、それぞれ水資源開発公団が受託し実施しました。

④、⑤については建設後それぞれの管理者に引き渡していますが、高見機場については高潮時等に正蓮寺川水門、六軒家川水門が閉鎖された場合、大阪府の指示により淀川に内水排除を行うこととなっています。

平常時の浄化用水の分水と高潮時の内水排除とはゲート操作により切替えを行う仕組みとなっています。



高見機場の屋上より分水施設の下流を望む

4. これまでの出来事

(1) 淀川大堰（建設省）及び毛馬排水機場（大阪府）新設に伴い、工業用水導水路の延伸工事（取水口の約 400m）が昭和 58 年 11 月に完成

淀川水系工事実施基本計画は、昭和 46 年 3 月に改訂され、全国に先がけて 200 年に 1 回の洪水対象として、治水計画が立てられました。淀川の三川合流点の下流の計画洪水量（6,950m³/s から 12,000m³/s）が改められ、長柄可動堰の改築の必要性が生じました。また、時を同じくして、大阪府では、高潮時及び洪水時の寝屋川の水位低下を図るため、淀川本川に 330m³/s のポンプ排水（毛馬排水機場）を行うことを決定しました。

大堰と排水機場は、位置的に極めて接近しており、相互の機能阻害のないように、淀川大堰は毛馬洗堰の約 400m 上流に建設し、毛馬排水機場は淀川大堰の左岸直下流（現毛馬洗堰付近）に新設し、洗堰は毛馬水門、閘門として淀川大堰上流に設置することとなりました。これに基づき、機構の管理する工業用水導水路取水口も同様に淀川大堰左岸（約 400m 上流）に移築しました。

（2）高速道路淀川左岸線事業により分水施設がリニューアル

正蓮寺川利水事業（当初事業）実施当時から計画されていた大阪市道高速道路「大阪高槻線」は「淀川左岸線」に呼称変更され、1 期工事は湾岸線北港ジャンクション～神戸線海老江ジャンクションに至る延長 5.7 km で、阪神高速道路（株）において事業実施中です。

2 期工事も、神戸線海老江ジャンクション～新御堂筋に至る 4.3 km で、現在大阪市と阪神高速道路（株）が合併施工方式による事業を進めています。

阪神高速道路淀川左岸線を正蓮寺川の河川内に整備するのにあわせて正蓮寺川における総合的な整備（正蓮寺川総合整備事業）が行われており、正蓮寺川周辺は公園等として生まれ変わろうとしています。

このうち、淀川左岸線 1 期事業の建設に伴い、機構の分水施設等が移設の対象となったことから、高見機場ポンプの改造、分水路及び排流渠等の移築工事を平成 10 年度～平成 14 年度に行いました。

これにより分水路及び排流渠は、名前も新たに六軒家川水路及び正蓮寺川水路としてリニューアルされました。

また、淀川左岸線 2 期工事等により、今後、工業用導水路が移設の対象となるため、導水路の廃止も視野に入れた補償協議を進めています。

（3）地震及び津波の対応

平成 7 年 1 月の阪神・淡路大震災時には、中津川管理室のある大阪府此花区において震度 4 でしたが、施設の損傷は一切ありませんでした。また、今年の 3 月 11 日の東日本大震災時には、大阪府に津波注意報が発せられたので、第一警戒態勢に入り、河川水位を測定した結果、3 月 11 日 21 時頃に、約 60 cm の津波を確認しましたが、施設への影響は有りませんでした。これを機に、毎月 11 日を「防災を考える日」と定め、職員で何をすべきなのかなど、南海・東南海地震等に備えて防災意識の向上を目指しています。

5. 謝辞

常にコスト縮減を念頭に、ストックマネジメントによる各施設の機能保全と適切

な維持管理・管理運用を行うと共に、機器のトラブル・不具合、水質事故発生の防止に取り組んでまいります。今年度は、東日本大震災の被災状況等を教訓に、南海・東南海地震等の大規模地震を想定した、具体的な防災態勢（案）、支援態勢を作成するなど危機管理の更なる強化に取り組むこととしています。

利水者や住民の皆様のニーズに応えた心に響くサービス（感動）を提供するとともに、水資源機構の経営理念である「安全で良質な水を安定して安くお届けする。」をモットーに職員一丸となって管理業務を遂行してまいります。

また、管理開始15,000日目の記念にあたり、さらにコンプライアンスの遵守及びコスト縮減など適正かつ透明性の高い業務運営に一層努めると共に、風通しの良い活気ある職場環境を目指して、チームワークを重視しつつ機動的な組織・業務の運営に取り組んでまいります。

利水者をはじめ、地域の皆様のご理解・ご支援をお願いいたします。



新淀川より、高見機場の取水口を望む

関西支社 中津川管理室長 名和 勝則

【近況報告】畑川ダム施工監理業務

総合技術センターダム等支援グループ 富 行徳

1. はじめに

独立行政法人水資源機構総合技術センターでは、京都府から受託して、平成22年11月より「畑川ダム河川総合開発業務委託」を実施しています。この業務は、畑川ダム本体建設工事の施工にあたり工事の効率的な施工と高い品質の確保、さらに、確実性・安全性の高い現場施工監理を実施することを目的とし、発注者の立場で工事の施工監理を行うもので、平成23年7月末現在、私を含め2名の機構職員が現地に駐在し業務を実施しています。

2. 業務の内容

この業務は、畑川ダム本体建設工事において、主として次に示す内容を実施しています。

(1) 監督・提案に関する業務

請負契約の適正な履行を確保し、工事の効率的な施工と高い品質の確保、確実性・安全性の高い現場施工を実施することを目的として、施工プロセスチェック、現地立会、品質管理などを行います。

(2) 総合評価（技術提案）に関する業務

畑川ダム本体建設工事が「総合評価（技術提案）方式」により契約された工事であることから、技術提案が確実に履行されているか現地において確認を行います。

(3) 個別課題に関する対応

ダム本体工事施工中に発生した個別の課題に対しては、機構本社内にある総合技術センターの支援のもと、その対策案について検討・提案を行います。

3. 畑川ダム本体工事の進捗状況

畑川ダムは、京都府が由良川水系高屋川支川畑川の京都府船井郡京丹波町下山地内に建設中の重力式コンクリートダムで、堤高34m、堤頂長88.5m、堤体積27,100m³の重力式コンクリートダムです。

畑川ダム本体建設工事は、平成21年10月に工事着手し、平成23年2月7日、畑川の流れを仮排水トンネルに迂回させ、ダム本体の掘削工事を開始しました。平成23年7月末現在、ダム本体掘削が完了し、本体コンクリート打設に向けて準備を実施しています。

最後に、微力ながら、より良いダムが完成するよう、精一杯がんばりたいと思います。



写真 畑川ダムダムサイト（下流から上流を望む）

【近況報告】大門ダムに勤務して

総合技術センターダム等支援グループ 牧野 浩二

水資源機構が奈良県から受注した「ダム管理設備工事等評価業務」の担当技術者として、大門ダム（奈良県生駒郡三郷町に建設中）の管理設備発注にあたっての基礎資料作成、工事監督等を行うため、平成22年9月から、大門ダムを監督する奈良県郡山土木事務所に常駐しています。

あっという間に1年近く過ぎてしまいましたが、現在まで勤務した感想としては、環境と忙しさにさえ慣れてしまえば、仕事としては管理設備に関連する業務のみのため、気分的に少しゆとりを感じています。せっかく土木事務所に常駐しているのだから、機構ではできないような業務（道路管理の現場等）も経験出来たらとも思ったりします。

大きく変わったことは、管理所において防災業務の勤務経験が多かったため、今は、雨を全く気にしないでグッスリ眠れることでしょうか。

業務内容についてですが、郡山土木事務所には電気通信担当者が一人も居ないため、システム構成、機器仕様等、管理設備に関することは全て一任されている状況で、やりがいがあるような、責任が重すぎるような複雑な心境です。

大門ダムの管理設備については、私が常駐し始めた時点では、まだ概略しか見えていない状況でしたが、関西支社設備課長、木津川総合管理所の方々の協力を十二分に活用させていただき、なんとか平成23年1月の試験湛水に間に合う目処がたち、ホッとしています。

平成22年11月から打設が始まった現場へも数えるほどしか行けないまま、この7月には打設が完了してしまいました。

現在も機器製作に向けての打合せ・書類等チェックのため、大半はデスクワークになっていますが、8月末頃からは機器据付・調整が始まるため、現場での工事監督が主になる予定です。

その頃にはゲート設備工事等、他の工事也大詰めを迎え、施工ヤードも限られているため現場が大変な状態になっているのでは？と今から心配しています。

規模の小さいダムと言えども、信頼性、操作性ともに十分な管理設備とする必要があるため、水資源機構での経験を活かして、今後の業務に励んで行きたいと思います。

大門ダムは、奈良県生駒郡信貴山のふもとを流れる一級河川大和川水系実盛川下流域に位置する三郷町の治水と生活用水を確保するために計画されたダムです。

この大門ダム建設地のすぐ上流には、1128年(大治3年)に建設され800年以上の歴史を持つ大門池があるのですが、この池の老朽化のため下流に小型のダム(大門ダム)を建設し、現在の大門池を少し広げることとなり、現在のダム建設事業に至っています。



大 門 ダ ム 全 景



打 設 完 了
(※二列目右端が執筆者)

◎ 青山夏祭り開催 ◎

川上ダム建設所

川上ダム建設所は、7月19日(日)今年で27回目を迎えた地元伊賀市青山地区の「青山祭り」に参加しました。

祭り会場では、川上ダムの役割や環境保全の取り組みを伝えるため、パネル展示とこれに関するクイズ大会を展示ブースで実施し、約160人の親子連れで賑わいました。



(川上ダム展示ブース)

クイズの参加者の子供達の中に、「水の調査隊」として、7月14日に川上ダムの現場見学に参加した青山小学校4年生も含まれており、現場見学で学んだ成果を見事に発揮し難問を解いておられました。

参加者からは、「環境保全の取り組みについて、良く理解出来た」とのご意見をいただきました。

展示ブースで親子でダムや環境について、楽しく学んでもらう場を提供していただき、さらに地域住民ともふれあうことが出来たことに青山夏祭りの主催者及び地元の方々に御礼申し上げます。

🌱 布目ダムわくわく探検を開催 🌱

布目ダム管理所

布目ダム管理所は、管理開始20周年特別イベントとし企画し、山添村、布目川を美しくする会、奈良県サイクリング協会、奈良県防災航空隊の皆様の協力のもと、7月24日(日)に布目ダム見学会を共同開催しました。

前日までは、台風6号の影響によりハッキリしない天候でありましたが、見学会当日は、カラッとした気持ちの良い天候に恵まれました。

事前のPRが効いたのか、7月22日(金)に奈良市のFM局からの電話取材あり、生放送されました。開催時間よりずいぶん早く多くの方に集まっていただき、各案内係は休む暇も無く、うれしい悲鳴をあげる事となりました。

ダム施設見学は、終了予定時間の15時を過ぎても人が訪れ、合計239名の皆様を案内させていただきました。

なお、ダム施設案内係は一人平均6~7回、ダム堤体の中を案内説明し、最後は疲労で歩き方が不自然であったことは言うまでもありません。

布目川を美しくする会の「水生昆虫観察会」にも30名近い方が参加され、実際に水生昆虫を捕まえ、学習会を行うなど盛況でした。

奈良県サイクリング協会が実施した「サイクリング教室」も大人気で、スラローム、8の字走行やシーソーなどのコースを走り、安全な走行技術を楽しみながら学んでいました。

山添村からは、大きな音とともに飛び出る懐かしいポン菓子と木工工作が出店され、木工工作ではたくさんの子供たちが鉛筆立てや貯金箱を作りました。

奈良県防災航空隊の訓練見学は、残念ながら緊急出動となったため、直前に中止になってしまい、楽しみに来ていただいた方には本当に申し訳ないことをしました。

布目ダム見学会に来られた多くの方々は、ダムの大きさや監査廊内の涼しさに驚かれ、シールラリーの景品の手作り竹とんぼは、子供のみならず大人にも大好評でした。

参加者からは、「ダムの大きさにびっくりしました。また、このような見学会を催していただき有意義な時間を過ごせました。」とのご意見をいただきました。

共同開催に参加いただいた方々の協力のもと、無事に終わられたことが一番の喜びです。御協力ありがとうございました。



ダム見学受付



ダム見学の様子



水生昆虫観察会



サイクリング教室

奈良県桜井浄水場と合同で

「あつまれ！水・水探検隊3」を開催

室生ダム管理所

室生ダム管理所は、桜井浄水場と共同で、7月18日に「奈良県山の日・川の日」イベントとして、見学会を開催しました。

海に面していない奈良県では、山と川が身近な自然であり、歴史と文化の源です。奈良県では、山と川の重要性や魅力について理解を深め、奈良の美しい山と川を次世代に残すことを目指して、国民の祝日「海の日」である7月の第3月曜日を「奈良県山の日・川の日」として条例で決めました。（奈良県土木部河川課HPより）



（室生ダム内部の痛廊）

桜井浄水場では、屋外施設の見学、室内でのプランクトン観察と凝集反応試験を体験しました。プランクトンは、午前中、室生ダムにて採取したものです。肉眼では解りませんが、顕微鏡で見たミクロの世界では、様々な生き物が動いており、小学生たちは、興味津々で観察していました。顕微鏡観察や試験は、大人が見ていてもおもしろいもので、浄水場の方へ質問をする見学者もいました。

参加者からは、「ダムの役割について、良く理解出来た。」とのご意見をいただきました。

台風6号の影響で、雨も降りましたが、無事、「あつまれ！水・水探検隊3」を行うことができました。ご協力ありがとうございました。

「あつまれ！水・水探検隊3」は、水源地である室生ダム管理所と、ダムからの水を飲料水にする桜井浄水場の2箇所を見学するもので、今回で3回目を迎えました。

当日は、台風6号が近づいている影響で、室生ダムでは、朝から弱い雨が降っていましたが、31名の参加をいただき、施設見学会を実施することができました。室生ダムでは、管理所内の操作室、ダム内部の通路、利水放流設備からの水が勢いよく出る減勢池を見学する経路で、室生ダムを探検していただきました。



（ネットによるプランクトン採取）



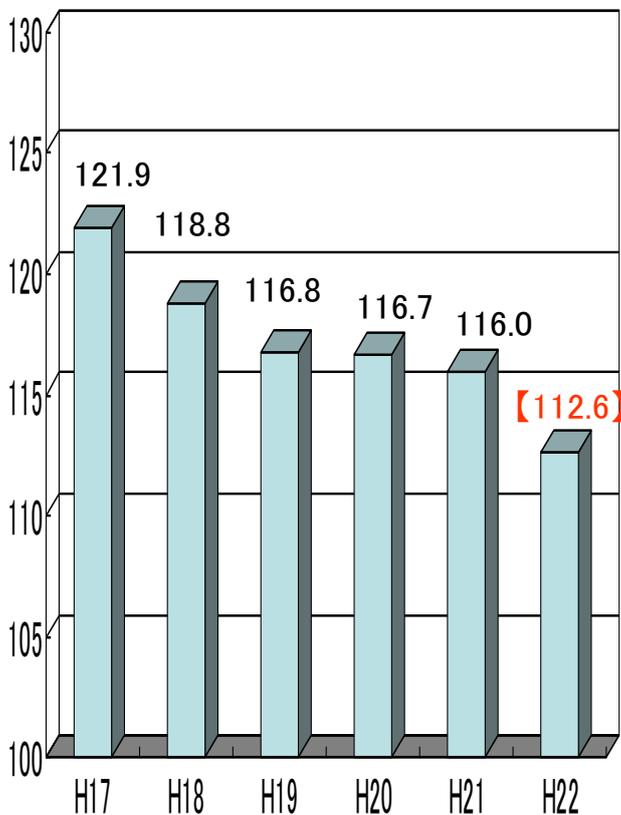
（顕微鏡によるプランクトンの観察）

機構と国の給与との比較(ラスパイレス指数)について

事業仕分けアンケート、利水者アンケート、業務改善の取り組みについて関係機関の方々に説明を実施して参りましたが、ラスパイレス指数について、平成23年07月20日HP上で公表されましたのでお知らせします。

○国の給与との比較 【 H22ラスパイレス指数 112.6 】

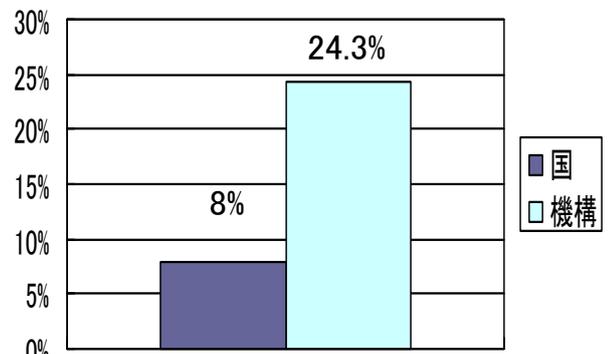
ラスパイレス指数の推移



● 給与水準が国よりも高くなっている主な理由

- (1) 事業の性格から業務場所は山間僻地が多く、また、水の安定供給のため、危機管理上24時間即応体制を取り、災害発生時は流域住民の生命、財産を守るため最前線の現場に出動する必要があるなど、危険かつ困難な状況の中で、常に緊張感を持って業務を行う必要があることを考慮し、人材を確保するために必要な給与水準としていること。
- (2) 全国(水資源開発水系に指定された7水系)に事業所があることから、職員を本社において一括採用し、全国一律の給与水準にて配置していること、また、原則として職員全員が全国転勤をしていることに伴い、単身赴任者の比率及び地域手当の異動保障の受給者が国家公務員(行政職(一))と比較して機構は高いこと。
- (3) 地方における国家公務員は、地方機関で採用される者も多く、単身赴任者や地域手当の異動保障の受給者の割合は機構に比して低くなっていること。

単身赴任者の比率(H22)



【主務大臣の検証結果】

国家公務員の水準を大きく上回っているため、講ずる措置を着実に実施することに加え、手当を含めた役職員給与の在り方について当該法人において厳しく検証した上で、国民の理解と納得が得られるよう更なる改善に抜本的に取り組む必要がある。

◆機構としましては、中期的な給与水準の目標として、H21のラスパイレス指数(116.0)から今後5年間で10ポイント程度低減させることとしています。

※ 国に比べ、単身赴任者の割合は約3倍となっており、機構職員の約4人に一人は、単身赴任者である。

★ どぼくカフェ開催ー土木学会関西支部関連イベント参加ー ★

「どぼくカフェ」は、『フォーラム・シビル・コスモス (Forum Civil Cosmos : F C C)』が主催して行われる土木に関する様々な話題について、講師による講演と参加者相互で気軽に好きなことを言いあえるイベントです。このF C Cとは、土木学会関西支部が、「土木の日」関連行事の実施を契機に、より活発な土木啓発活動を行うために設立されたもので、この「どぼくカフェ」は2010年より行われています。

インターネットの普及により、マニアックな話題が愛好者によって急速に広がっています。職業人が普段、魅力を感じない土木構造物のような巨大構造物にも、「工場」、「ジャンクション」、「鉄塔」、「水門」、「ダム」などの分野が書籍や個人のホームページ、ブログなどによって、よりディープな世界として知られているところです。職業人以外の愛好者の方々が土木構造物についてどのように感じているか、それを知ることはたいへん貴重なことです。

今回のテーマは「はじめてのダムマニア」ということで、ダムに関する話題が取り上げられました。講演はNHK BS2の「熱中時間～忙中”趣味”あり」や新宿やお台場のダムトークライブの出演でおなじみ、昨年の関西管内技術研究発表会で講演いただいたダムライターの萩原 雅紀氏です。講演では、ダムに接するきっかけから、今まで行ったダムの記録・思い出、ダムの事業者によるこだわり、伝統の違い・特色などにはじまり、萩原氏が数多く回った中でも、見るものを魅了する「ファンタジスタ」（観客を魅了するスーパースター選手）級と称するダムの紹介、ダムを見るダムマニアの視点としては、ダムの下からダムや洪水吐き等の構造物を見てはじめて分かる全体像など、ダムを見るポイントに至るまで、はじめてダムに接する方のための魅力あふれるお話しでした。会場は、なんばアメ村の中心街にある阪神高速高架下のオープンスペース「LOOP A」で平成23年7月25日に開催され、一般の方から、ダムマニア初心者の方々まで、女子大生、大阪のおばちゃんなど女性の参加も多く、全体では約30名の参加がありました。講演者と聴衆が近いこともあり、一言ごとに反応や意見が飛び交う熱気のあふれる講演でした。



▶ どぼくカフェ全景



▶ 熱演する萩原氏

ダムの新しい魅力の発掘、職業人では見えない新しいダムの魅力を伝えていただきました。これを励みにし、広く一般の方々に愛されるダム管理を目指していきたいと思います。

なお、秋のイベントでは関西の大物ダムマニアにも出演交渉中とのこと。次回のイベントも楽しみにしています。

水資源機構関西支社では、土木事業の啓発活動にも支援していきます。

関西支社 総務部 谷 雅典、今井 敬三

イベント情報

ダム名	行事	開催時期	開催場所	主催	概要
川上ダム	市民夏の賑わい	8月21日(日) 12:00~21:00	三重県伊賀市役所 伊賀鉄道「伊賀市駅」から 徒歩3分	市民夏の賑わいフェスタ 実行委員会	パネル展示、露店、 盆踊り、花火大会
室生ダム	ゆうゆう祭り	9月18日(日) 10:00~16:00	奈良県宇陀市桧牧 平成榛原子供のもり公園	(財)宇陀市文化 スポーツ振興団	フリーマーケット、 カヌー教室他

今年も、それぞれの機関が開催するイベントが予定されています。

編集後記

今年の梅雨明けは、例年よりも13日早い7月8日です。梅雨明け後、しばらく好天で暑い日が続いていましたので、湯水を心配していましたが、台風6号の接近による降雨により各ダムとも貯水量は回復し、ひとまず安心といったところです。7月下旬からは気圧が不安定な状況で、ゲリラ豪雨などが心配されるところで各ダムとも緊張感をもって管理をしています。

6月中旬から7月中旬にかけて、各関係機関の皆様方に対して、事業仕分けアンケート、利水者アンケート、業務改善の取り組みについて説明いたしました。忙しい中、対応していただいた関係者の皆様方には厚く御礼申し上げます。

また、今年の夏は、東北地方太平洋沖地震による福島原発の事故を契機に、各電力会社からの電力供給の見通しが下方修正され、各地方、各機関、各家庭において節電に取り組んでおります。節電により、体調を崩さないように体調管理には十分ご注意ください。

なお、不肖私は、健康増進と秋の各ダムのマラソン大会に向けて、毎週水曜日に仕事が終わった後に大阪城RUNをはじめました。

(利水者サービス課 今井)



水機構ランナーズのTシャツ(個人で購入)



[水レター「びわ湖・よど川」に対して、ご要望・ご意見等がございましたら、下記アドレスまでご連絡ください。\(耳寄りな情報もお待ちしております。\)](#)

mailto: w-kansai@msg.biglobe.ne.jp